

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **04-277402**

(43)Date of publication of application : **02.10.1992**

(51)Int.Cl.

F21S 5/00
H01J 61/30
H01J 61/56
// F21V 23/00

(21)Application number : **03-037254**

(71)Applicant : **MATSUSHITA ELECTRON CORP**

(22)Date of filing : **04.03.1991**

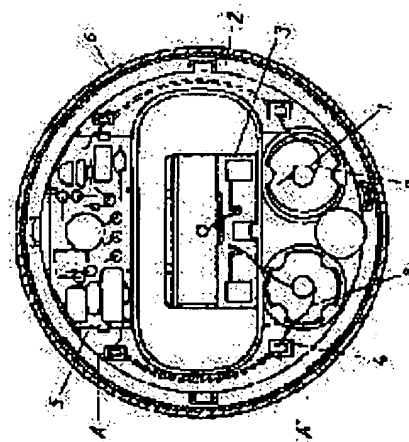
(72)Inventor : **ARAKI TSUNETAKA**

(54) ELECTRIC BULB SHAPED FLUORESCENT LAMP

(57)Abstract:

PURPOSE: To enhance the easiness in assembling works, simplifying the process, and reduce the number of items used by forming a lighting device and connection terminal in a single piece with a lamp holder.

CONSTITUTION: A fluorescent lamp 1, lamp holder 2, stabilizer 2, connection terminal 4, and lighting device 5 are accommodated in a case 6. Therein, the stabilizer 3 and terminal 4 are formed in a single piece with the holder 2, while the lighting device 5 is located opposite a lead 8 for connection of the lamp 1. The terminal 4 is located along the peripheral edge of the holder 2, wherein the ends of the terminal 4 are left protruding at the side with the lead 8 of lamp 1 and the side with the lighting device 5. These ends of terminal 4 generate electric connection of the lamp 1 with device 5 through caulking of the lead 8 of lamp 1.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-277402

(43) 公開日 平成4年(1992)10月2日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
F 2 1 S 5/00	D	7913-3K		
H 0 1 J 61/30	S	8019-5E		
61/56	L	8019-5E		
// F 2 1 V 23/00	3 9 5	2113-3K		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平3-37254

(22) 出願日 平成3年(1991)3月4日

(71) 出願人 000005843

松下電子工業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 荒木 恒隆

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電子
工業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

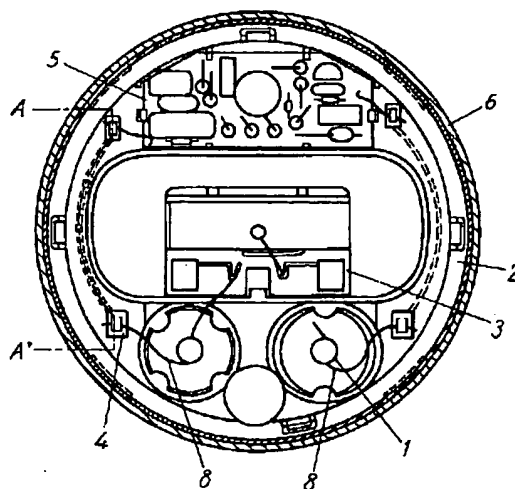
(54) 【発明の名称】 電球形蛍光灯

(57) 【要約】

【目的】 組立作業性の向上と工程の簡素化を図り、部品点数を削減する。

【構成】 ランプホルダ2に、点灯装置5と接続端子4を一体成形する。

- 1 蛍光ランプ
- 2 ランプホルダ
- 3 安定器
- 4 接続端子
- 5 点灯装置
- 6 ケース
- 8 リード線



【特許請求の範囲】

【請求項1】 蛍光ランプと前記蛍光ランプの点灯装置と前記蛍光ランプを保持するためのランプホルダと前記点灯装置および前記ランプホルダを内包するケースとを備えた電球形蛍光灯において、前記ランプホルダに、前記点灯装置と、前記蛍光ランプと前記点灯装置との電氣的接続を行うための接続端子とが一体成形されていることを特徴とする電球形蛍光灯。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は電球形蛍光灯に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 少なくとも1本の直管部を有する蛍光ランプと点灯装置と蛍光ランプを保持するためのランプホルダと点灯装置およびランプホルダを内包するケースと電球口金等からなる電球形蛍光灯において、その組立および電氣的接続は、各部品をもちより別工程にて行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 かかる電球形蛍光灯においては、その組立および電氣的接続は、各部品をもちより固定のための接着剤および組立工程の工数が必要となり、また組立によるために、部品点数の増加による部品管理の複雑化、部品同士のマッチング確認、さらに組立が複雑となるために、組立の困難さ、電氣的接続の不確実性という欠点があった。

【0004】 よって、本発明の目的は、その組立および電氣的接続を行うにあたり、部品点数が少なく、部品同士のマッチング確認が簡単で、組立が容易で電氣的接続が確実に品質の安定した電球形蛍光灯を得ることにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 この目的を達成するために、本発明は、蛍光ランプと前記蛍光ランプの点灯装置と前記蛍光ランプを保持するためのランプホルダと前記点灯装置および前記ランプホルダを内包するケースとを備えた電球形蛍光灯において、前記ランプホルダに、前記点灯装置と、前記蛍光ランプと前記点灯装置との電氣的接続を行うための接続端子とが一体成形されている。

【0006】

【作用】 本発明によると、ランプホルダに点灯装置と、蛍光ランプおよび前記点灯装置の電氣的接続を行うための接続端子とが一体成形されているため、部品点数を減少させることができる。

【0007】

【実施例】 以下、本発明の一実施例について図面を用い

て説明する。

【0008】 図1ないし図3に示すように、本発明実施例の電球形蛍光灯は、ダブルU字形の蛍光ランプ1、ランプホルダ2、安定器3、接続端子4、蛍光ランプ1を始動点灯させるための点灯装置5、ケース6、電球口金7等から構成されており、ケース6内に蛍光ランプ1、ランプホルダ2、安定器3、接続端子4および点灯装置5が収納されている。そして、安定器3および接続端子4はランプホルダ2に一体成形されている。点灯装置5は容積上の面から蛍光ランプ1の電氣的接続用のリード線8のある側と反対側に設けられている。接続端子4は前記のごとくランプホルダ2に一体成形されているが、ランプホルダ2の外周縁に沿って配置されており、その両端部は蛍光ランプ1の電氣的接続用のリード線8のある側と点灯装置5のある側に突出している。この接続端子4の両端部は、蛍光ランプ1のリード線8をかしめることにより、蛍光ランプ1と点灯装置5とを電氣的接続している。

【0009】 このような構造により、安定器3がランプホルダ2に一体成形されているため、安定器3を固定するための接着剤および工程が省け、また、接続端子4がランプホルダ2に一体成形されているため、位置的に離れた部品同士の接続を行う必要のある構造であっても、組立時に接続端子4の固定および電氣的短絡への注意が不要となるので、作業が格段に容易となり、したがって工程の簡素化、電氣的接続の確実性が大幅に改善される。

【0010】

【発明の効果】 以上説明したように、本発明によれば、組立および電氣的接続を行う際に部品点数の減少による部品管理が簡素化され、また部品同士のマッチング確認が簡素化され、さらに組立が容易なため、電氣的接続の確実性も向上し、品質も安定化される。したがって、組立工程の自動化が容易となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例の電球形蛍光灯の要部断面図

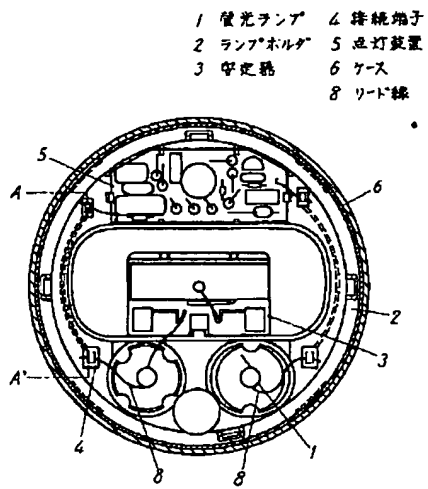
【図2】 本発明の一実施例の電球形蛍光灯の縦断面図

【図3】 図1のA-A'線に沿って切断した断面図

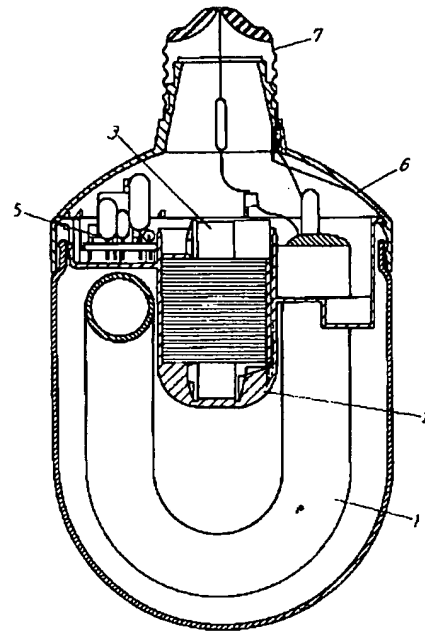
【符号の説明】

- 1 蛍光ランプ
- 2 ランプホルダ
- 3 安定器
- 4 接続端子
- 5 点灯装置
- 6 ケース
- 7 電球口金
- 8 リード線

【図1】



【図2】



【図3】

